

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 別福会	代表者	北地 輝昭	法人・事業所の特徴	「わたくしたちは、地域とともに歩み、地域から愛され信頼され希望ある施設づくりをめざします。」という理念のもとに、利用者様を主体とした寄り添ったケアを実践している家庭的であたたかみのある事業所です。
事業所名	福祉の森 光町事業所	管理者	田村 廣子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	7人	0人	0人	1人	0人	2人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	スタッフの質(スキル)を向上させる教育、研修会への参加を計画する。	年間の計画を立て、月1回のミーティング時に研修会、教育を行った。	会議に積極的に参加できている。	ニーズに応じて地域資源を活用する。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所外への地域イベントへの積極的な参加を今期以上に推進させるための参加(外出)計画を立案する。	地域イベント参加計画を立て、H28年7月12日八坂神社のお立ち寄りに参加。H28年8月20日盆踊りに参加した。	居心地がよく利用者様もゆっくりと過ごせている。玄関近くにトイレがあるが匂いや音等気にならない。	環境面のレベルを維持・向上する。(特に玄関近く。)
C. 事業所と地域のかかわり	地域との関わり合い(連携・協働)を積極的に推進するとともに、具体的な活動計画を年間スケジュールに組み込む。	参加可能なときは定例会へ参加した。	行事、講習等積極的に参加できている。	地域と連携し、新しい行事(現段階では地域の交通安全運動を予定している。)に参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	広域にちらばるご利用者の所属する地域への必要性(優先度)を分類し、来期の活動計画へ反映させる。	光町を最優先し計画を立て、利用者様と共にイベントに参加したり外出可能などときには積極的に外出を行った。	行事自体が少なくなっているが、参加してくれている。町内で一人暮らしの高齢者等の支援依頼をお願いしたい。	地域の高齢者等の相談や支援にかかわる為に民生委員と連携を強化する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進委員会への積極的な活動情報のフィードバックを行う仕組みづくりを行う。	特別に仕組み作りは行っていないが、運営推進委員会では活動内容について報告を行ってきた。	事業所の取り組みは運営推進会議を通じて分かりやすく説明されている。その他の項で行事など取り組んだことを表記してくれているのは助かる。	運営推進会議でのその他の項に行事、取り組んだことを記載する。
F. 事業所の防災・災害対策	現状の防災計画を見直し、リスクの抽出と分析、対応優先順位付けを行う。	防災計画を見直し、防災訓練をH28年7月13日に避難訓練、平成28年8月3日に消防用設備等(特殊消防用設備等)点検を実施する。	防災計画が分らない。防災訓練を行なうことを事前に知らせてくれれば参加できた。	年間の防災計画を作成し年度初めの運営推進会議にて公表する。